2026 年期　第 4 回課題研究テーマ（東京実務補習所）

37 班～45 班

テーマ	日本公認会計士協会テクノロジー委員会は 2024 年 8 月、研究文書第 11 号「監査における AI の利用に関する研究文書」を公表し、AI を活用した監査手続の効率化・高度化について整理している。あなたが現在従事している（又は今後従事する想定の）監査業務のうち、AI による効率化・高度化が特に有効と考えられる手続を 1 つ具体的に挙げたうえで、以下について論述しなさい。 ①　その手続に AI を活用する場合の具体的な活用方法とメリット ②　AI の出力結果に対して監査人が職業的懐疑心をどのように発揮すべきか、想定される限界・リスク（ハルシネーション、学習データの偏り等）とともに述べなさい ③　あなたが現場主査（インチャージ）の立場であった場合、AI 活用に不慣れなチームメンバーに対してどのような指導を行うか